

2006年1月23日

各 位

会 社 名 東京応化工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 中村洋一
コード番号 4186 (東証第一部)
問 合 せ 先 広報部
TEL (044) 435 - 3000

中国での液晶ディスプレイ製造用材料の生産品目拡充に関するお知らせ

東京応化工業株式会社および長春石油化学股份有限公司(長春石化社)との合弁会社である長春応化(常熟)有限公司(Chang Chun TOK社)は、既に商業生産を行っている半導体および液晶ディスプレイ製造用シンナー・フォトレジスト現像液に加えて生産品目を拡充し、2006年6月より液晶ディスプレイ製造用剥離液の量産を行います。

今回拡充する剥離液は、主にフォトレジストの剥離に用いられ、中国地域で生産を行っている液晶パネルメーカーに供給する予定です。中国市場では、既に液晶パネルメーカーが生産を行い、今後も生産量、投資の拡大が見込まれ、一層のビジネスの拡大が期待できますため、今般、剥離液につきましても現地生産を行うことといたしました。また、さらなるビジネスニーズを捉え、適切な供給体制の構築を行うことにより、中国市場での事業の拡大を図ってまいる所存であります。

当社グループでは、顧客に密着したグローバルなサポート体制の構築をアジア、北米、欧州の各地域において推進しており、本件はアジア地域での一層充実した体制の構築を企図したものであります。一方で当社グループでは、適地生産体制の構築をも進めており、エレクトロニクス機能材料につきましても主として日本国内で生産を行い、高純度化学薬品につきましてもは需要地域で生産を行う体制の構築を進めております。なお、長年にわたり協力関係にある長春石化社とは、台湾東應化股份有限公司およびChang Chun TOK社を合弁で運営いたしております。

※長春グループにつきましては、こちらのホームページ(<http://www.ccp.com.tw/>)をご覧ください。

設備投資の概要

- (1) 工 場 長春応化(常熟)有限公司 常熟工場
- (2) 拡充品目 液晶ディスプレイ製造用剥離液
- (3) 投 資 額 約4億円
- (4) 完成予定 2006年4月

1 / 2

◆本件に関するお問い合わせは◆

東京応化工業株式会社 広報部

〒211-0012 川崎市中原区中丸子150番地 TEL. 044-435-3000(代) FAX. 044-435-3020

<http://www.tok.co.jp/>

長春応化(常熟)有限公司の概要

- (1) 社 名 長春応化(常熟)有限公司 (CHANG CHUN TOK (CHANGSHU) CO., LTD.)
- (2) 所 在 地 江蘇省常熟經濟開發区沿江工業区長春路
- (3) 設 立 2004年10月
- (4) 資 本 金 730万米ドル (約8億円)
- (5) 出資比率 東京応化工業株式会社 51% 長春石油化學股份有限公司 49%
- (6) 代 表 者 董事長 小峰 孝 (東京応化工業株式会社 取締役常務執行役員 開発本部長)
- (7) 事業内容 半導体、液晶ディスプレイ製造用シンナー・フォトレジスト現像液の製造、販売
- (8) 面 積 敷地面積約11,800㎡ 延べ床面積約4,700㎡
- (9) 売上規模 20億円 (2009年)
- (10) 従業員数 15名

■長春応化(常熟)有限公司



以 上